

日本医史学雑誌三十四卷総目次

原著

後藤新平の衛生行政論の

一貫性について……………日野 秀逸…三七～三五

血清薬院……………小高 健…三八～四二

『金匱要略』の文献学的研究(第一報)

—元・鄧珍刊『新編金匱方論』— ……真柳 誠・小曾戸 洋…四四～四三〇

『明月記』における瘧疾の検討(統報)……………中村 昭…四三～四四

ヘンリー・コブリックが百日咳患者

から分離した桿菌……………深瀬 泰且…五三～五七

後藤新平「命価説」に関する研究……………日野 秀逸…五六～五四

御雇教師ミユルレルとホフマン(二)……………小関 恒雄…五五～六〇〇

研究ノート

『素問』陰陽応象大論篇における

東風木について……………戸出 一郎…四四～四七

日露戦争における野戦病院について……………黒澤 嘉幸…四八～四七三

広場

総合健診史・拾遺……………三輪 卓爾…五〇～五四

資料

岩崎灌園のシーボルト関係手稿……………矢部 一郎…五五～五九

随想

追悼論文

曲直瀬玄朔の遺言状……………宗田 一…三七～四七

友子同盟・労働組合と労働者保護

—煙毒・塵肺を中心として—……………三浦 豊彦…四八～六五

和蘭陀外科免状(題簽)

医史学と私……………赤松 金芳…三三～三三三	医史学と私……………服部 敏良…三四～四三	医史学と私……………古川 明…四三～四八三	医史学と私……………王丸 勇…四八四～四八七	医史学と私……………矢数 道明…四八八～四九九	医史学と私……………大鳥蘭三郎…五〇〇～五〇五	医史学と私……………富士川英郎…六〇一～六〇六	医史学と私……………田中 助…六〇七～六四	医史学と私……………杉 靖三郎…六二五～六四	医史学と私……………関根 正雄…六五～六〇〇	医史学と私……………三木 栄…五〇七～五〇	医史学と私……………三浦 豊彦…五二～五七	医史学と私……………守屋 正…五八～五五
------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------

(*印は第三十三卷四号に掲載)

多紀雲従門人録について……………	矢数 道明…二〇六～二〇六
長崎浩齋著『浩齋医話』について……………	津田 進…二七〇～二七〇
E・ペルツとツツガムシ病……………	安井 広…三三二～三三二
淀藩に於ける蘭学……………	杉立 義一…三三二～三三二
『馬琴日記』にあらわれた病氣と医療	
—滝沢みちを中心にして……………	立川 昭二…二六三～二七二
日本における医学のシンボル	
「アスクレピオスの杖」の受容……………	古川 明…二七六～二七六
ムラージュをめぐる……………	長門谷洋治…二九四～二九四
Legal aspects of medicine	
—Dr. Bonham's case—……………	栗本 宗治…三五六～三五〇

追悼文

中野先生の追憶……………	大島蘭三郎…三〇四～三〇五
中野操先生を慕う……………	三木 栄…三〇五～三〇七
中野操先生をしのぶ……………	田中 助一…三〇七～三〇九
偉大なる医人としての	
中野操先生の追憶……………	山中 太木…三二〇～三二〇
市井の学医中野操先生……………	大塚 恭男…三三三～三三三
中野操先生を偲んで……………	酒井 シヅ…三三四～三三五
略歴・著作目録	
中野操先生略歴・著作目録……………	長門谷洋治…三二六～三三三

第89回日本医史学会総会演題目次

特別講演

Background of Dutch doctors in Japan
during the Bakumatsu-Meiji Period

..... Harm BEUKERS..... 一

名誉会長講演

史料室の効用..... 中原 泉..... 二

会長講演

幕末明治期来日外国人医師の著作および論文
—とくにその仮目録編集について..... 蒲原 宏..... 三〇五

シンポジウム

—明治期に來日した外国人医師の医学的文化的業績—
幕末明治期来日医学関係者リスト
作製について..... 長門谷洋治..... 六〇八

ボードインの來日とその意義..... 石田 純郎..... 九〇三
わが国の精神病学にたいする..... 岡田 靖雄..... 一四〇六

来日外人医学教師の貢献..... 鹿子木敏範..... 一七〇九
明治期来日ドイツ人医師の貢献..... エルメレンス、ローレッツ、マンズフェルトの
顕微鏡的医学指導..... 藤野恒三郎..... 二〇〇三

ボンベが日本で行なった医学講義
—特に内科と外科の講義内容—..... 大島蘭三郎..... 三

一般口演

1 『諸病源候論』における

歯病の医説に関する考察..... 戸出 一郎..... 三〇五

2 倉公淳于意 その一..... 家本 誠一..... 二五〇七

3 別本『仲景全書』の
書誌と構成書目..... 真柳 誠..... 二六〇〇

4 医師赤川文樸と松岡茂章..... 田中 助一..... 三〇〇三

5 石綿産業の衛生問題の歴史..... 三浦 豊彦..... 三〇〇五

6 扁鵲の経絡説
—「三陽五会」の検討—..... 遠藤 次郎..... 三〇〇七

7 中国医学と道教 (VIII 扶鸞)..... 吉元 昭治..... 三〇〇〇

8 安藤昌益の臨床医学と
『万病回春』..... 和田 耕作..... 三〇〇三

9 吉益東洞・南涯・北洲、三代の門人録
—「奥田本」について—..... 矢数 道明..... 三〇〇四

10 失われた井上玄徹の墓..... 小曾戸 洋..... 三〇〇七

11 北尾春圃伝補遺..... 安井 広迪..... 三〇〇九

12 『回生録』—近世末期のある医師の診療録—
..... 末田 尚..... 三〇一〇

13 朝鮮人参耕作記の歴史..... 安江 政一..... 三〇一三

14 『福田方』
の小児諸病證論について..... 広田 嘩子..... 三〇一五

15 『医心方』第二卷 鍼灸篇
孔穴主治法第一に引用された古典について

16	『医心方』の伝写について(Ⅷ) ——半井家本の紙背文書——	高島 文一	五〇〇
17	曲直瀬(今大路)家系の疑問	杉立 義一	五〇〇
18	維摩経典の中の人間の疾患	宗田 一	五〇〇
19	日本における西洋医学教育の始まりと 医業分業の始まり	関根 正雄	五〇〇
20	西南戦争従軍医師の日記について	中室 嘉祐	五〇〇
21	明治初期における 軍医団と広島医会との関係	石崎 達	五〇〇
22	篠崎医院小児科坪井芳治医師	江川 義雄	五〇〇
23	地方医学校の設立と廃校 ——その一、大阪慈恵病院医学校——	泉 彪之助	五〇〇
24	新潟医学校に関する規則	中山 沃	五〇〇
25	後藤新平『国家衛生原理』 の理論的源泉	谷津 三雄	五〇〇
26	京都府立医科大学における 解剖体について	日野 秀逸	五〇〇
27	高橋瑞と荻野久作	山田 久夫	五〇〇
28	解剖用女性人体模型と S・エルドリッジの手紙	安井 広	五〇〇
29	W・アンダーソン(Anderson)の 持ち帰った『病草紙』	松木 明知	五〇〇
		酒井 シツ	五〇〇
30	豊後府内病院の 所在位置と規模について	東野 利夫	五〇〇
31	『扶氏経験遺訓』 初訳本と刊本の異同について	中村 昭	五〇〇
32	三瀬諸淵訳『前里伊羅安検査書』 について	会田 恵・寺畑 喜朔	五〇〇
33	江戸時代随筆集にみる狂気 第二報	昼田源四郎	五〇〇
34	金沢藩に禄士の三宅復一について	寺畑 喜朔	五〇〇
35	十七・八世紀の長崎における 中国人医師たちについて	山本 徳子	五〇〇
36	R・オウエンの 歯の硬組織名称の命名補遺	本間 邦則	五〇〇
37	入歯師と入眼師	新藤 恵久	五〇〇
38	眼科学病名の変遷(病名史)	奥沢 康正	五〇〇
39	医学教育研究の温故知新	柴田 幸雄	五〇〇
40	初期医学教育における パストールの意義	大村 敏郎	五〇〇
41	阿片委員会について	清水 勝嘉	五〇〇
42	第一次大戦前後における野戦病院	黒澤 嘉幸	五〇〇
43	日本医療団(第二報) ——戦中・戦後の活動と一般体系の モデルケース——	佐久間温巳	五〇〇
44	愛育村医療活動の一事例		五〇〇

	— 神奈川県中郡高部屋村！……………	奥富	敬之…二六〇二九
	日本医療思想の源流……………	長瀬	治…三〇〇三三
46	アムステルダム大学附属図書館所蔵の 『解剖学表』について……………	酒井	恒…三三〇三三
47	スワドリング (Swaddling) と 当時の小児科医たち……………	大野	晏且…三三〇三五
48	腹腔動脈の解剖学的研究の歴史 (一) — ハラーを中心に！……………	澤野	啓一…三五〇二六